



今月の内容

- | | |
|--------------------|---------------|
| 02 仮装盆踊り&雄信内夏まつり | 07 こんにちは栄養士です |
| 03 暮らしのお知らせ/マチの伝言板 | 08 病院だより |
| 05 協力隊通信 | 09 マチの話題 |
| 06 町民カレンダー | 12 ひとのうごき |



仮装盆踊り【8月14日】



【大人団体・準優勝】
バリピ社協軍団



【大人団体・第3位】
老人クラブ連合会



【大人団体・優勝】
はまなす学園大学

今年も仮装盆踊りが開催！
ミレニアムパークはたくさん
の町民で賑わいました♪



【大人団体・特別賞】
多文化共生チーム



【子供団体・Goodで賞】
トイズストーリー



【子供団体・キュートで賞】
さとうきょうだい



【個人・ハローニール会賞】
退勤仕事猫



【個人・日の丸旅館賞】
スパイダーマン



【子供団体・めんこいで賞】
かりんこヨサコイ



【個人・アサヒ飲料賞】
ウツティ

仮装盆踊り・雄信内夏まつり



翌日は雄信内夏まつり！
よさこいや音楽ライブ、盆踊り
をみんなで楽しみました♪



暮らしの

お知らせ

役場から
お知らせします！



TV・冷蔵庫の月額制取扱開始
町立病院
☎01632(2)1058

町立病院では、これまでテレビ・冷蔵庫を事前に購入いただき、TV・冷蔵庫をご利用いただいておりますが、11月16日より月額制へと移行をいたします。

これにより、テレビ・冷蔵庫の度数がなくなるたびに新たなカードを買う必要がなくなり、また、退院時にカードの残った度数の清算ができないといった皆様のご不満にお答えすることができま

さらに、TV+冷蔵庫セッ



トプラン…330円/日(税込)、冷蔵庫プラン…242円/日(税込)、TVプラン…286円/日と、患者様のニーズに合わせて選択することができます。

いずれかのプランの利用を希望される方は、病院スタッフに申し願います。サービス提供元である(株)パースジャパンと契約を締結いただき、使用日数に応じた料金をクレジット決済、若しくは後日当該業者より送付される請求書によりコンビニ等にてお支払いいただきますよう、よろしくお願いいたします。

このほか、詳しくは、町立病院までお問い合わせ願います。

マチの 伝言板



**自賠償、切れて
いませんか？**

交通事故による死傷者数は年々減少傾向にあるものの、令和7年の事故発生件数は約29万件、死傷者数は約34万人と、国民の誰もが交通事故の被害者にも加害者にもなり得る極めて深刻な状況となっています。

交通事故は社会の負の部分であり、被害者にとっても加害者にとっても悲惨な結果をもたらすものです。

自賠償保険・共済は、すべてのクルマ・バイク等1台ごとに加入が義務づけられており、加害者の賠償責任を担保することで、被害者の基本的な賠償を保障する制度であり、被害者の救済を目的としています。

一人一人が、より一層自賠償

制度の役割や重要性、保険金・共済金の支払いのしくみなどを十分に理解・認識することがとても大切です。

■未加入・未更新で乗ると、懲役または罰金の対象になります！

自賠償保険・共済は、万一の自動車事故の際の基本的な対人賠償を目的として、自動車損害賠償保障法に基づき、原動機付自転車(電動キックボード・モペット)を含むすべての自動車に加入が義務づけられています！

四輪車はもちろんですが、特に、車検制度のない250cc以下のバイク(原動機付自転車・

特定小型原動機付自転車・軽二輪自動車)の、未加入・未更新にご注意を!!

自賠償制度の詳しい内容は、国土交通省 自賠償保険・共済ポータルサイト (<https://www.mlit.go.jp/jidosha/jibaisek/>) でご覧いただけます。



あなたの自賠償が、
みんなの交通社会を支えている。

加入しています! 加入しています! 加入しています!

9年 9月 9月

モペットも、電動キックボードも。
自動車・バイクと同様に自賠償保険・共済の加入が義務付けられています。
違反すると、懲罰または罰金・免許停止の対象になります。

自賠償への加入方法など、詳しくはこちら! www.mlit.go.jp/jidosha/jibaisek/

自賠償保険・共済の加入方法など、詳しくはこちら! www.mlit.go.jp/jidosha/jibaisek/

自賠償保険・共済の加入方法など、詳しくはこちら! www.mlit.go.jp/jidosha/jibaisek/

自衛官等募集のご案内

■2等陸・海・空士

《資格》18歳以上33歳未満の者

(32歳の方は採用予定月の末日現在、33歳に達していない方)

《受付期間》年間を通じて行っております。

《試験期日》受付時又は各自衛隊地方協力本部のホームページにてお知らせします。

《試験会場》受付時にお知らせします。

■陸上自衛隊高等工科学校生徒《資格》

・推薦…男子で中卒(見込含)17歳未満の成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な成績を修め、学校長が推薦できる者

・一般…男子で中卒(見込含)17歳未満の者

《受付期間》

・推薦…10月1日(木)～11月27日(金)

・一般…10月1日(木)～令和9年1月14日(木)

《試験期日》

・推薦…【一次】令和9年1月9日(土)～11日(月祝)※いずれか1日を指定されます。

◆お問い合わせ先◆
自衛隊旭川地方協力本部稚内地域事務所
〒097-0001
稚内市末広5丁目6番1号 稚内地方合同庁舎5階
☎0162(33) 1227

◆お問い合わせ先◆
令和8年度の全国労働衛生週間が「ひとりひとりが貴重な人材心も体も健やかに みんないきいき健康職場」をスローガンに、10月1日(木)～7日(水)を本週間として実施されます。

全国労働衛生週間

この機会に、それぞれの事業場において、自主的労働衛生管理活動の一層の促進を図りましょう。

◆お問い合わせ先◆
稚内労働基準監督署
☎0162(73) 0777

掲載を希望される方へ
11月号へ掲載を希望する方は、
10月14日(水)までにお知らせください。
企画商工課広報情報係

建設現場労働者のための退職金制度
建退共
KENTAI KYO
(独)勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
TEL 03-6731-2866 建退共 Q

建設業退職金共済制度は、建設業界のために、国がつくった退職金制度です。

国の制度で安全確実	退職金は企業間で通算	掛金が一部免除
掛金は損金扱い	経営事項審査で加点評価	オンラインで手続き簡単

ハロウィンジャンボ 4億円
1等・前払金合わせて4億円
1等2億円、前後賞各1億円

ハロウィンジャンボミニ 4,000万円
1等・前払金合わせて4,000万円
1等2,000万円、前後賞各1,000万円

9月16日(水)発売
発売期間/9月16日(水)～10月15日(金) 抽せん日/10月26日(月)

1枚 300円
ネット購入
Q 重くじ公式サイト
http://www.kyocorajackpot.jp/

北海道最低賃金

北海道の事業場で働くすべての労働者(会社員、パート、アルバイトの方、学生さんなど働くすべての人)及びその使用者に適用される「北海道最低賃金」が改定されました。

時間額 1,131円

効力発生日：令和8年10月1日

●最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金及び時間外等割増賃金は算入されません。

●最低賃金以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがあります。

●鉄鋼業で働く方には、北海道の特定(産業別)最低賃金が適用されます。



着任のご挨拶

9月から天塩町地域おこし協力隊（酪農担当・業務委託型）として着任いたしました、広島県出身の三宅克佳（みやけ・かつよし）と申します。酪農学園大学を卒業後、飲食業で勤務した後、酪農業を11年間、行っておりまして。酪農実務で経験してきたことを生かして、天塩町での新規就農を目指す方々に寄り添い、支えるような活動を目指していきます。天塩町はまだ分からないことが多いので農家や地域の皆様に教えていただきながら、天塩町の酪農の担い手のために尽力できるよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



巡回展開催のご案内

地域おこし協力隊の前川です。

9月24日（木）から10月11日（日）までの期間、天塩町社会福祉会館2階小会議室において、宗谷管内巡回展「宗谷と天塩のヒグマ」を開催いたします。

近年、北海道のみならず全国的にクマに関する関心が高まっている状況を踏まえ、「ヒグマと人間の関わり」に焦点を当て、考古学・生物学・歴史学・郷土史など多様な視点から、各地域におけるヒグマとの関わりを紹介する内容となっています。興味・関心のある皆さまにおかれましては、ぜひ会場へお越しください。

なお、会場は天塩町社会福祉会館となります。また、展示期間は約2週間と短いため、お見逃しのないようご注意ください。

※入り口では、受付名簿にお名前等をご記入のうえ、会場へお入りください。



《宗谷管内巡回展「宗谷と天塩のヒグマ」》

会場：天塩町社会福祉会館 2階小会議室

期間：9月24日（木）～10月11日（日）

開館時間：10:00～18:00

休館日：月曜日（9月28日、10月5日）

着任して1ヶ月が経ちました

天塩町地域おこし隊の小林です。着任より約1ヶ月、あっという間に過ぎました。

今回は佐久間隊員とともに進めている活動について書いてみようと思います。いま進めている活動は、大きく分けて①天塩町の植生調査と記録、②啓徳小中学校の活用にもむけた取り組み、③作品制作、の3つあります。

まずは①天塩町の植生調査と記録について。

天塩町には、豊かな植生がたくさんあります。しかし、近隣の町と比較して、その記録データが圧倒的に少ない（豊富町の1/7、中川町の1/13、幌延町の1/38）事実があります。この植生は、数年で入れ替わってしまう可能性があるうえ、最近は外来種に追いやられてその流れが加速しています。

そこで、「さく^{よう}葉標本」という押し花の標本を作って、記録に残していく活動を進めています。植物を採取し、新聞紙にはさみ、押し花にして乾燥させて、A3の台紙に貼る、といった気軽なものです。が、実はちゃんと国際規格に沿っておりれっきとした学術標本になります（最近では、朝ドラ「らんまん」でテーマとして取り上げられていました）。

来年为目标に、ワークショップなどの形でみなさんにも楽しんでいただけるよう、準備を進めています（植生調査へ出向いたり、採取の許可取りをしたり）。目標は、標本づくりの体験ができる「植物標本館（ハーバリウム）」の設立です。町内町外問わず、交流の場のひとつのかたちとして実を結べるよう、一歩ずつ勉強していきます。



そして、②啓徳小中学校の活用にもむけた取り組みについて。

将来の活用を考えながら、少しずつ内部の掃除を進めています（虫の量がすごい！）。地域のみなさまの思い入れがある場所ということと、法律的にいろいろあるとこのことで、今後活用の方向性は話し合いを通じて決まっていくようです。地域コミュニティの場にできたらいいな、と個人的に思っております。

わたしたちそれぞれの作品制作についてはまた今後、書こうと思います。少しずつ進んでまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

町民カレンダー



- ・日程は変更となる場合があります。
- ・ごみは当日の朝 8 時までに出してください。
- ・10 月の回覧日は 14 日と 28 日です。
- ・あいあいクラブ・・・こども園▶火～木、雄信内▶月

令和 8 年 **10** 月

日	月	火	水	木	金	土
休み	生ごみ ペットのふん	一般ごみ	資源ごみ 紙おむつ等 衣類等	生ごみ ペットのふん	農村地区	休み
9 月 27	28	29	30 ● 10 月粗大ごみ収集 申し込み締切日 ● 幼年消防クラブ 防火歩行パレード 10 時 15 分	10 月 1	2 ● 10 月粗大ごみ収集日	3 ○天塩中学校祭 ● 運転免許更新時講習 [豊富町定住支援セン ターふらっときた] ・優良 13 時 ・一般 14 時 ・違反 15 時 30 分
4	5 + 糖尿病内科外来 ☆はつらつクラブ [ふれあいセンター] 13 時 30 分～ 15 時	6 ●母子寡婦会バス停 サロン [6 丁目バスターミナル] 11 時～ 15 時 ●運転免許更新時講習 [社会福祉会館] ・優良 13 時	7	8	9	10 ●町民文化祭（作品 展示会） [社会福祉会館] ○天塩小学芸会（一 般公開日） ●運転免許更新時講習 [遠別町生涯学習セ ンターマナビィ 21] ・優良 13 時
11 ●町民文化祭（作品 展示会） [社会福祉会館]	《スポーツの日》 12	13	《町内回覧日》 14 ☆いきいきサロン [老人福祉センター] 10 時～ 12 時	15	16 ○託児の日 ☆いきいきサロン [雄信内老人憩いの家] 10 時～ 12 時 ●天塩町消防団秋の 非常招集訓練 19 時	17
18	19	20	21	22 + 産婦人科外来	23	24
25 ●町民文化祭（舞台 発表会）・天塩町敬老 会 [社会福祉会館] ○天塩小開校記念日	26 + 眼科外来 ☆はつらつクラブ [ふれあいセンター] 13 時 30 分～ 15 時	27	《町内回覧日》 28 ☆いきいきサロン [老人福祉センター] 10 時～ 12 時	29	30 + 小児科外来 ○乳児健診 9 時 10 分～	31 



こんにちは栄養士です
次世代につなげよう！
和食文化ではぐくむ「生きる力」



まずは大人の食卓から。
未来へつなぐ
「食べること」



毎日の食事は、私たちの体だけでなく、心や人とのつながりをはぐくむ大切な営みです。

とくに、四季折々の食材を生かし、地域の暮らしの中で生まれてきた「和食」には、先人の文化や健康に生きるための知恵がたくさん詰まっています。

天塩の春は山菜、夏はしじみ、秋は鮭、冬はカジカなど…。留萌管内は、豊かな自然と美味しい食材に恵まれています。食卓を通じて季節の移り変わりを感じられることは、町の素晴らしい財産です。

親世代のリアルな悩み
「こんな「モヤモヤ」
はありませんか？」



「子どもには手づくりの和食を食べさせたいけれど、毎日忙しくてそんな余裕がない」「野菜や魚を食べたくない」「市販の顆粒だしに頼っていて、これでもいいのかな？」と罪悪感がある」など、子育てや仕事に追われる現代の親世代にとって、丁寧な食育や和食づくりは少しハードルが高く感じられるのが現実です。

その原因は
どこにある？



現代の食卓は、ライフスタイルの変化や核家族化が進み、昔のように家族みんなで時間をかけて準備し、伝統的な郷土料理を伝えるという環境が作りにくくなっています。また、手軽で便利な顆粒だしや調味料がふれているため、本物の昆布やかťお節から出る「本来のうま味」に触れる機会自体が、大人も子どもも自然と減ってしまっています。

完璧じゃなくて大丈夫！
「本物のうま味」を
味方に



和食文化を受け継ぐということは、決して昔の時間暇のかかる食生活に戻すということではありません。現代の便利な暮らしに上手に合わせながら、本物の知恵を次の世代へバトンタッチしていくことです。その力ぎを握るのが和食の基本である昆布やかťお節などの「だし」です。本物の素材からとった「だし」には、人工的には作れない豊かな香りと、じんわりと体に染み渡る深い「うま味」があります。この本来のうま味を一度体験すると、子どもたちの味覚は豊かに育ち、素材そのもの

【環境の「環」】

天塩・留萌管内・
北海道の自然の恵み、
豊かな「旬」を五感で味わう！

環

和食がはぐくむ
3つの「わ」

輪

和

【人の「輪」】

家族や地域で食卓を囲み、
温かくて「美味しい記憶」を残す！

【和食文化の「和」】

「だし」の知恵と感謝の心。
子どもたちの生きる力へ！

今日からできる
5つのアクション！



まずは、誰でもすぐにできる簡単な一歩からはじめてみましょう。

の味を好きになるきっかけ（偏食の解消）になります。さらに、「だしのうま味」が素材を引き立ててくれるため、塩分が控えめであっても、美味しく満足できる味に仕上がります。

大人自身がラクをしながら健康になり、子どもたちの『生きる力（自立や豊かな感性）』をはぐくむ。それこそが、今必要とされる「大人の食育」です。

- 麦茶用ボトルに水500mlと昆布10gを入れるだけの簡単極上昆布だしづくり！
- みそ汁の仕上げに小袋のかťお節をそのままトッピング！
- 季節や行事に合わせて旬の食材を1品プラス！
- 食卓ではスマホを手放し、心をこめて「いただきます」「美味しいね」「ちそうさま」を合い言葉に！
- 地域の人たちに食材の調達方法や美味しい食べ方を聞いてみよう！

一緒に作って食べ、誰かに伝える。小さな行動の積み重ねが子どもたちの豊かな感性や人間力をはぐくみ、生きる力を育てます。

感染症は冬だけじゃない！ ～今年の流行から考える感染対策～



今年は夏があつという間に過ぎ、天塩では朝晩の冷え込みに季節の移り変わりを感ずるようになりまし
た。これからさらに気温が下がり、室内で過ごす時間が増えてくると、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの呼吸器感染症にも、より注意が必要な季節を迎えます。
今年度の特徴のひとつは、感染症の流行が必ずしもこれまでの季節のイメージどおりではないことです。
北海道では8月下旬の時点で、インフルエンザの定点当たり報告数が流行入りの目安を超えました。また、新型コロナウイルス感染症の報告数も前週から増加しており、季節を問わず引き続き注意が必要です。
さらに、今年は手足口病の流行もみられ、8月下旬には北海道全体で警報レベルを超え、留萌保健所管内でも多くの患者が報告されました。手足口病は子どもに多い感染症ですが、大人が感染することもあります。
このように近年は、「インフルエンザは冬」「手足口病は夏」といった従来の季節のイメージだけでは、感染症の流行を予測することが難しくなっています。だからこそ、流行してから対策を始めるのではなく、日頃から基本的な感染対策を続けることが大切です。

感染症対策の基本をもう一度



感染症対策は、毎日のちよつとした心がけの積み重ねが大切です。日常生活の中で、次のことを意識してみましよう。

●**こまめに手を洗う**…外出後や食事・調理の前、トイレの後などには、石けんと流水で丁寧に手を洗いましよう。

●**咳エチケットを心がける**…咳やくしゃみなどの症状があるときは、マスクを着用するなど、周囲に感染を広げないように心がけましよう。

●**こまめに換気する**…寒くなると窓を閉め切りがちですが、室内の空気を入れ替えることも呼吸器感染症の対策につながります。無理のない範囲で、定期的な換気を心がけましよう。

●**体調が悪いときは無理をしない**…発熱だけでなく、咳やのどの痛み、鼻水、倦怠感など、いつもと違う症状があるときには無理をせず休養し、人との接触をできるだけ控えましよう。

また、インフルエンザの予防接種も、間もなく始まります。ワクチンには、発症する可能性を低くすることに加え、重症化を防ぐ効果が期待されています。特に高齢者や基礎疾

患のある方など、重症化のリスクが高い方は、予防接種について早めに検討してみたいかがでしょうか。

冬は感染性胃腸炎にも注意



そして、これから冬に向けて注意したいのが、ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎です。ノロウイルスは感染力が強く、家庭内で一人が感染すると周囲へ広がることがあります。特に、トイレの後、食事や調理の前、嘔吐物や排泄物を処理した後は、石けんと流水による丁寧な手洗いをいましよう。アルコールによる手指消毒は、石けんと流水による手洗いの代わりにはならないため、手洗いを基本とすることが大切です。

発熱などの症状がある方へ



当院では、院内での感染拡大を防ぎ、皆さまに安心して受診していただくため、発熱や咳、のどの痛みなど感染症が疑われる症状がある場合には、直接来院せず、事前に病院へ電話でご連絡をお願いします。症状などを確認したうえで、受診方法を

ご案内します。ご自身だけでなく、他の患者さんを感染から守ることにもつながりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

感染症を完全に防ぐことは難しいものの、一人ひとりが基本的な感染対策を続けることで、感染が広がるリスクを減らすことはできます。自分自身を守ることはもちろん、高齢者や小さなお子さん、基礎疾患のある方など、感染症によって重症化しやすい人を守ることもつながります。これから迎える天塩の長い冬を元気に過ごすためにも、今一度、毎日の感染対策を見直してみましよう。

(院内感染対策委員会 高田 寛子)



化石クリーニングを体験



▲化石クリーニングを体験した子どもたち

8月16日、化石採集や地質調査などの地学研究を行っている北海道大学のサークル「シユマの会」のメンバーを講師として招いた「たのしい化石教室」が社会福祉会館で開催され、未就学児を含む9名が参加しました。白亜紀の北海道は海であったことからアンモナイト化石の宝庫であると説明したあと、本物のアンモナイト化石を石の中から取り出す作業を体験。保護者やサークルメンバーの助けも借りながら、金槌と鑿（たがね）を使って化石クリーニングにチャレンジしました。



天小生の標語がのぼり旗に



▲標語を考案した岸山さん（中央）

8月14日、天塩警察署で交通安全旗の貸与式が行われ、天塩小4年生の岸山美冬さんが山森署長にのぼり旗を手渡ししました。のぼり旗に書かれた標語「自転車も 標識守ろう 車の仲間」は、岸山さんが考案した作品で、町交通安全協会の主催で実施された「天塩町交通安全標語コンテスト」において大賞に選ばれたものです。岸山さんは自分の作品が採用されるとは思っていなかったそうで、少し照れくさそうな様子でした。この旗は、夏の交通安全運動の開始に合わせて町内各所に掲げられています。



天中生バレー全国大会出場



▲全国大会に出場する天塩中学校の生徒

天塩と遠別の中学生で構成される合同バレーボールチーム「遠別VBC」の男子チームメンバーの三橋星太さん、工藤瑛太さん、湯澤祥太さん、吉田征叶さん、コーチの三橋優樹さんが8月21日に吉田町長のもとを訪れ、8月5～7日にかけて江別市で行われた中体連での男子3位入賞、また9月26～27日に大阪で開催される「JVA第29回全国ヤングバレーボール大会」への出場報告を行いました。主将の三橋さんは「全国大会は初めての経験ですが、そこで戦える力は十分持っていると思うので、しっかりと結果を残せるように自分の力を出し切って勝ちを目指して頑張りたいです」と抱負を語りました。



勾玉づくり体験から考古学を学ぶ



▲出前講座で勾玉づくり体験を行った参加者

8月22日、北海道立埋蔵文化財センターの出前講座が町社会福祉会館にて開催され、小学生5名、大人9名が参加しました。同センターの倉橋直孝さんが講師として天塩町の遺跡について説明した後、参加者が道内で発掘された縄文土器や石鏃・石斧・ヒスイ製の実物を触り、生じた疑問などに解説をしました。続いて、参加者は千歳市キウス4遺跡出土ヒスイ製勾玉をまねて、滑石を材料に勾玉製作に挑戦。講師から縄文時代において、ヒスイの石材は新潟県糸魚川エリアで産出されるものが使用され、このエリアで玉に形作られたものが全国の遺跡から出土することから、縄文時代の交流の一端がわかると説明を聴きました。



全道大会へ続々出場



▲(上) 羽幌フェニックスの天塩メンバー、(下) 天塩フェニックスの出場メンバー

8月31日、管内の小中学生が所属する野球チーム「羽幌フェニックス」の天塩メンバーが吉田町長のもとを訪れ、9月中に開催される2つの全道大会への出場報告を行いました。主将の穴戸皓哉さん(中学2年生)は「誰よりも声を出してチームを引っ張っていきま」と力強く決意を述べました。また9月3日にはバレーボール少年団「天塩フェニックス」の団員らが、9月12・13日に深川市で開催される「第24回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会」の出場報告に訪れ、主将の松本朝日さん(小学6年生)は「力を合わせて優勝を目指し頑張ります」と意気込みを述べました。



児童虐待防止を学ぶ



▲グループワークの様子

8月26日、「児童虐待防止対策研修会」がふれあいセンターで開催され、町内外の保健師・教員・保育士など45名が参加しました。旭川児童相談所子ども支援課主幹の下村朋史氏による講演では、虐待が疑われる子どもに出会った時の対応について、実際に保護に至った事例も交えながら、児童虐待は現在だけでなく将来に渡り悪影響を及ぼすため、子どもの安全を第一に考えて行動する必要があると説明。講演後、母親から暴力を受けたと訴える児童への対応を想定したグループワークが行われ、参加者それぞれの立場から真剣な意見が交わされました。



▲(上) ダンボールベッドを組み立てる生徒ら
(下) サバイバルゲームを楽しむ様子

天高生が自衛隊と「サバゲー」で交流



8月29日、天塩高校で「一日防炎学校」が開催され、全校生徒・消防職員・自衛隊員・近隣住民など約100名が参加しました。生徒らは体育館でテント型パーテーションやダンボールベッド、簡易ベッドなどの組立・設置を体験した後、震度5強の地震とそれに伴う最大8メートルの津波を想定した校舎屋上への避難訓練を実施。防炎情報配信システム「@InfoCanal」の配信を見て避難してきた近隣住民の誘導も行い、防炎意識を高めました。

午後からは、スポーツセンターで天塩町自衛隊協力会主催によるサバイバルゲーム交流会が開催されました。このイベントは、昨年9月に開かれた「天塩まちづくり・高大連携シンポジウム2025」のなかで提案されたアイデアを実現したものです。ゲームには赤外線センサー式の安全な光線銃を使用し、陸上自衛隊第26普通科連隊(留萌市)の隊員らがデモンストレーションを行った後、一般参加者や高校生らが5人1組となってゲームを体験。フィールドに設置されたバリケードを利用して身を隠しながらの緊張感あるバトルを、時間の許す限り楽しみました。

令和8年度 防災訓練



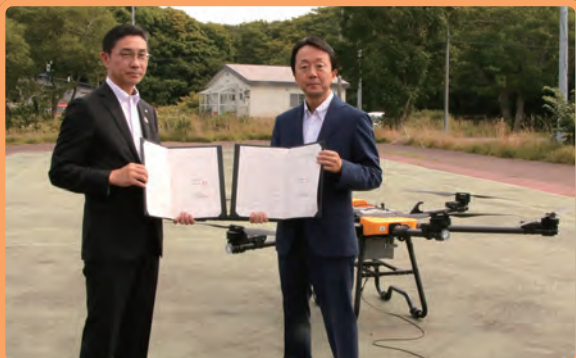
▲物資を持ち上げるドローン



▲自衛隊のオートバイに跨る子ども

9月5日、スポーツセンターで今年度の防災訓練が行われました。会場では天塩町と興北建設株式会社（留萌市）による「無人航空機の活用に関する協定書」の調印式が行われ、災害時や行方不明者の捜索などについてドローンを活用した協力連携を行う協定を締結しました。ドローンの飛行展示も行われ、50kgほどの救援物資を吊り下げたドローンが浮かび上がると、見学に来た町民らから「おおつ」と驚きの声が上がりました。

「大雨災害 あなたは大丈夫？」と題した講話では、国内で発生した大雨災害を例に、ハザードマップで被害が想定されていない場所でも被害が発生する可能性があることや、自分だけは大丈夫だと思ひこむ「正常性バイアス」が逃げ遅れに繋がること、周りの判断に合わせようとする「同調性バイアス」を利用して隣近所に声を掛け合い一緒に避難すること、また家庭で日頃からできる備えなどが説明されました。



▲協定書を持つ吉田町長と興北建設の原田欣典代表取締役

三四郎・小痴楽落語会



▲（左）桂三四郎氏、（右上）柳亭小痴楽氏、（右下）桂源太氏

9月8日、町教育委員会主催による「桂三四郎・柳亭小痴楽落語会」が社会福祉会館で開催され、約70名が来場しました。3名の落語家が登壇し、桂源太氏はふぐ鍋を食べたいが毒にあたるのを恐れる2人のドタバタを描いた「ふぐ鍋」を、柳亭小痴楽氏は鏡を見たことがない夫婦が勘違いの果てに大喧嘩に発展してしまう「松山鏡」を、桂三四郎氏は酔っ払いの亭主が妻にわがままを言って振り回すも最後に本音を聞かれてしまう「替わり目」を演じ、会場は和やかな笑いに包まれました。

ミニ四駆サーキットが登場



▲コースを周回するミニ四駆を眺める子どもたち

9月6日、サニースペース（海岸通4）で恒例のコミュニティカフェ「おまつ」（テトデプラス）が開催されました。今回はこども縁日としてヨーヨー釣りや射的ゲームが設置され、ビーズリース作りのワークショップ、旭川市のたこやき店「音Code」の出店、天塩警察署によるパトカーの展示、そして昨年11月にもやってきた名寄市の「Tokoonan」が再びミニ四駆サーキットを設置。その場で購入したキットを組み立ててコースを走行させ、大人も子どもも一緒に楽しむことができました。

地域貢献企業

のご紹介

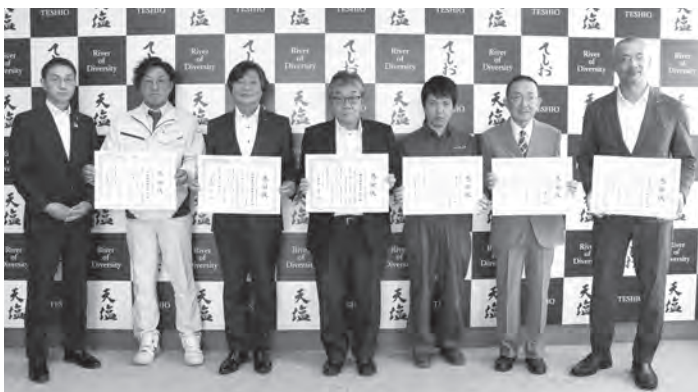


地域貢献企業をご紹介します。地域振興のためご尽力いただきましたことに深く感謝申し上げます。

《第4回天塩川しじみまつり・会場整備への協力》

・幌延河川事務所工事安全連絡協議会
（堀松建設工業株式会社、興北建設株式会社、株式会社メイク、株式会社瀬越組）

・天塩地域農業開発事務所工事安全管理対策協議会（株式会社瀬越組、菊地建設株式会社）
・山高建設工業株式会社



▲ 8月26日に行われた感謝状贈呈式

戸籍のお知らせ

※掲載にご同意いただいた方のみ掲載しておりますので、ご了承願います。

★お誕生おめでとうございます

（更岸中央）

中島 琉月 さん
涉さん・朱里さんの長女

●結婚おめでとうございます

該当なし

◆ごめいふくをお祈りします

（新地通）
伊藤 トモエ さん（97歳）

ご厚志のご紹介

■天塩町へ

合同会社ユーラスエナジー浜頓別様
（寄付額…100万円）

鶴居村

北広島市

■天塩町社会福祉協議会 愛情銀行へ
《香典返しとして》

新地通

《社会福祉のために》

雄信内

■天塩町社会福祉協議会へ
（株）阿部組様

南川口

■恵愛荘へ
須藤 昭子 さん

北川口

振老
藤澤 京子 さん
石本 千ヨ子 さん

編集後記

いつも「広報てしお」をご愛読いただきありがとうございます。広報担当の菅野です。

♪マチの話題に掲載した「たのしい化石教室」では、金槌と鑿の扱いに苦戦する子どもたちを手伝う形で、少しでも作業を体験させていただきました。うっかり化石を真つ二つに割ってしまった人もいましたが、断面から方解石化した内部を見ることができました。これはアンモナイトの殻に含まれているカルシウムが、周囲から様々な影響を受けて化学変化を起こし、長い時間をかけて置き換わったものです。カナダのアルバータ州では、虹色のきらめきを得たアンモナイト化石「アンモライト」が採掘され、宝石として珍重されています。遠い未来で、私たちの身の回りのものはどんな形で発見されるのでしょうか？

♪広報紙への記事掲載や取材のご依頼などございましたら、企画商工課広報情報係までご連絡ください。



▲アンモナイト化石の断面

ひとのうごき



---人口---
2,495 人 (+ 2)
男 1,283 人 (± 0)
女 1,212 人 (+ 2)
---世帯数---
1,412 世帯 (- 2)
(令和8年8月31日現在)



公式LINE
配信中！

◀友だち登録はこちらから！

今月の納税

納期

11/2

・町道民税（5期）
・国民健康保険税（5期）



App Store
(iOSの方)

防災情報配信システム

@InfoCanal

(アットインフォカナル)

ダウンロードはこちらから！



Google Play
(AndroidOSの方)